

【公表】 事業所における自己評価総括表

事業所名	やまと発達支援センター-WANTS児童発達支援			
保護者評価実施期間	2026年2月1日	～	2026年2月28日	
保護者評価有効回答数	対象者数	10名	回答者数	4名
従業者評価実施期間	2026年2月15日	～	2026年2月28日	
従業者評価有効回答数	対象者数	4名	回答者数	4名
事業者向け自己評価表作成日	2026年3月15日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化、充実を図ることを期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢や障がい特性などに応じて、個別および集団活動のバリエーションを幅広く持っている点。	特に障がい特性への理解を深め、アセスメントを実施し、個々の利用児により適切な活動内容を提供できるようにしています。	新たな活動や教材の開発、アセスメントに基づくより適切な活動の提供に向けて、職員間でのミーティングをさらに充実できるようにします。
2	保護者支援、家族支援に力を入れている点。また、将来の子育てに資する様々な情報などを定期的にお知らせしている。	日々の活動後には、必ず保護者へのフィードバックを行っています。また、家庭や地域での生活における状況を把握し、必要な支援を適宜行えるようにしています。	保護者向けの勉強会を定期的に開催するなど、特に将来に向けて必要な情報を適切に提供できるようにします。
3	障がい特性への理解や対応力の高い経験豊富なスタッフがおり、また公認心理士による適切な評価を行うなど、多角的なアセスメントとそれに基づく個別対応が可能な点。	ケースカンファレンスの定期的な開催とアセスメント結果の職員間での共有に努めています。	経験年数が浅い職員については、特性理解が深められるよう、実践の中で研鑽を重ねるようにします。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所が考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員体制が脆弱な点。	事業所だけの課題ではなく、全般的に人材不足が深刻な状況にあります。	法人とも協議しながら、引き続き人材の確保に努めていきます。
2	保護者支援、家族支援には重点的かつ個別に取り組んでいますが、「ペアレントトレーニング」、「父母の会活動」のような体系化された支援が困難である点。	保護者支援、家族支援は個別性の高い案件として捉えているため、体系化が困難な面があるとともに、利用者への周知も不足していると考えられます。	支援を効率的かつ平均化して実施していくため、今までの取り組みの体系化に努めます。
3	非常時の対応について、保護者等へその周知が十分でない点。	マニュアル整備や訓練の実施は行っていますが、周知の方法には十分な意識が向いていませんでした。	非常時の対応について、今後マニュアルの存在や訓練等の実施について、より積極的に保護者等に周知するように努めていきます。